

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 11 月 4 日

静岡地方裁判所富士支部執行係

裁判所書記官 松 井 一 代

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 12 月 3 日 午前 8 時 30 分から 令和 7 年 12 月 10 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 7 年 12 月 17 日 午前 10 時 00 分 場 所 静岡地方裁判所富士支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 1 月 7 日 午前 10 時 00 分 場 所 静岡地方裁判所富士支部執行係
特別売却 実施期間	令和 7 年 12 月 18 日 午後 1 時 00 分から 令和 7 年 12 月 19 日 午後 3 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規 則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 11 月 4 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。 なお、期間入札において買受申出がないときは、開札日の翌日から原則 2 日間特別売却が実施されます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～6	22,300,000 17,840,000	一括	4,460,000	138,799	0
1	1,700,000				
2	3,840,000				
3	660,000				
4	4,830,000				
5	3,990,000				
6	7,280,000				



物 件 目 録

- | | | | |
|---|---|---|---------------|
| 1 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3094番1 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 469.00平方メートル |
| 2 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3094番2 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1061.15平方メートル |
| 3 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3094番4 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 182.83平方メートル |
| 4 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3095番4 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1335.53平方メートル |
| 5 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3096番2 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1101.91平方メートル |



物 件 目 録

6 所 在 富士市比奈字向山 3095 番地 4、3094 番地 1、
3094 番地 2、3096 番地 2

家屋 番号 3095 番 4 の 1

種 類 倉庫 居宅

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建

床 面 積 1 階 72.75 平方メートル
2 階 29.69 平方メートル

(現況)

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 約 107 平方メートル

(附属建物)

符 号 1

種 類 作業所

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 44.49 平方メートル

(現況)

構 造 軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 約 49 平方メートル

符 号 2

種 類 鶏舎

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 443.70 平方メートル



物 件 目 録

(現況)

床 面 積 約 4 7 2 平方メートル
符 号 3
種 類 鶏舎
構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 3 6 4 . 0 0 平方メートル

(現況)

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
符 号 4
種 類 鶏舎
構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 5 8 1 . 6 0 平方メートル

(現況)

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
符 号 5
種 類 鶏舎
構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 3 6 3 . 2 9 平方メートル

(現況)

構 造 木造ビニール板葺平家建
符 号 6
種 類 作業所



物 件 目 録

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 45.08 平方メートル

(現況)

不存在

(未登記附属建物 a)

種 類 鶏舎

構 造 木造ビニール板葺平家建

床 面 積 約 190 平方メートル

(未登記附属建物 b)

種 類 倉庫

構 造 鉄骨造スレート葺 2 階建

床 面 積 1 階 約 64 平方メートル
2 階 約 64 平方メートル

(未登記附属建物 c)

種 類 便所

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 約 2 平方メートル

(未登記附属建物 d)

種 類 鶏舎

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 約 165 平方メートル



物件明細書

令和 7年 8月12日

静岡地方裁判所富士支部執行係

裁判所書記官 松 井 一 代

1 不動産の表示

【物件番号1～6】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～6】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号6】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号 1、2】

北側隣地（地番3093番1）との境界がそれぞれ不明確である。

【物件番号1、3～5】

東側官有地（赤道）との境界がそれぞれ不明確である。

【物件番号5】

南側隣地（地番3096番10）との境界が不明確である。

【物件番号 6】

官有地（赤道）にはみだしている附属建物符号 3、未登記附属建物 a、同 b 及び同 d の一部につき、その敷地利用権はない。

《 注 意 書 》

1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。

2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。



- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- | | | | |
|---|---|---|----------------|
| 1 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3094 番 1 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 469.00 平方メートル |
| 2 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3094 番 2 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1061.15 平方メートル |
| 3 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3094 番 4 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 182.83 平方メートル |
| 4 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3095 番 4 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1335.53 平方メートル |
| 5 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3096 番 2 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1101.91 平方メートル |



物 件 目 録

6 所 在 富士市比奈字向山3095番地4、3094番地1、
3094番地2、3096番地2

家屋 番号 3095番4の1

種 類 倉庫 居宅

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建

床 面 積 1階 72.75平方メートル
2階 29.69平方メートル

(現況)

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 約107平方メートル

(附属建物)

符 号 1

種 類 作業所

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 44.49平方メートル

(現況)

構 造 軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 約49平方メートル

符 号 2

種 類 鶏舎

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 443.70平方メートル



物 件 目 録

(現況)

床 面 積 約 4 7 2 平方メートル
 符 号 3
 種 類 鶏舎
 構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
 床 面 積 3 6 4. 0 0 平方メートル

(現況)

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
 符 号 4
 種 類 鶏舎
 構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
 床 面 積 5 8 1. 6 0 平方メートル

(現況)

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
 符 号 5
 種 類 鶏舎
 構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
 床 面 積 3 6 3. 2 9 平方メートル

(現況)

構 造 木造ビニール板葺平家建
 符 号 6
 種 類 作業所



物 件 目 録

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 45.08 平方メートル

(現況)

不存在

(未登記附属建物 a)

種 類 鶏舎

構 造 木造ビニール板葺平家建

床 面 積 約 190 平方メートル

(未登記附属建物 b)

種 類 倉庫

構 造 鉄骨造スレート葺 2 階建

床 面 積 1 階 約 64 平方メートル
2 階 約 64 平方メートル

(未登記附属建物 c)

種 類 便所

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 約 2 平方メートル

(未登記附属建物 d)

種 類 鶏舎

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 約 165 平方メートル



令和6年(ケ)第 37号
令和6年12月25日受理
令和7年 3月 7日提出

現況調査報告書

(2分冊の1 物件1, 2, 3, 4, 5, 6)

静岡地方裁判所富士支部

執行官 伊 藤 公 志

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | | |
|---|---|---|---------------|
| 1 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3094番1 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 469.00平方メートル |
| 2 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3094番2 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1061.15平方メートル |
| 3 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3094番4 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 182.83平方メートル |
| 4 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3095番4 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1335.53平方メートル |
| 5 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3096番2 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1101.91平方メートル |



物 件 目 録

6 所 在 富士市比奈字向山 3095 番地 4、3094 番地 1、
3094 番地 2、3096 番地 2

家屋 番号 3095 番 4 の 1

種 類 倉庫 居宅

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建

床 面 積 1 階 72.75 平方メートル
2 階 29.69 平方メートル

(附属建物)

符 号 1

種 類 作業所

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 44.49 平方メートル

符 号 2

種 類 鶏舎

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 443.70 平方メートル

符 号 3

種 類 鶏舎

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 364.00 平方メートル

符 号 4

種 類 鶏舎



物 件 目 録

構 造	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積	581.60平方メートル
符 号	5
種 類	鶏舎
構 造	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積	363.29平方メートル
符 号	6
種 類	作業所
構 造	木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積	45.08平方メートル



不 動 産 の 表 示	「物件目録」のとおり
住 居 表 示	(住居表示未実施)
土 地	物件 1, 2, 3, 4, 5
現 況 地 目	■宅地(物件 1, 2, 3, 4, 5) □公衆用道路(物件) □ (物件)
形 状	☒ ほぼ公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ ほぼ土地建物位置関係図のとおり ☐
占 有 者 及 び 占 有 状 況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり
下記以外の建物 (目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)
そ の 他 の 事 項	1 本土地上に電柱(支柱を含む), 電力線等の引込柱が複数存在する 2 本土地上にサイロ及びかつて鶏舎として利用されていた構築物が存在する (土地建物位置関係図参照)
建 物	物件 6
種類, 構造及び 床 面 積 の 概 略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点が異なる(■主たる建物 ■附属建物) ☐ 種 類: ☒ 構 造: 「その他の事項」のとおり ☒ 床面積: 「その他の事項」のとおり
物件目録にない 附 属 建 物	☐ ない ☒ ある ☐ 種 類: 「その他の事項」のとおり ☐ 構 造: 「その他の事項」のとおり ☐ 床面積: 「その他の事項」のとおり
占 有 者 及 び 占 有 状 況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を倉庫, 居宅, 作業所, 鶏舎等(空き家)として使用, 占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地 (目的外土地)	☐ ない ☒ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)
そ の 他 の 事 項	本建物内には動産類が残置されている
執 行 官 保 管 の 仮 処 分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 保管開始日 支部 平成 年()第 号 平成 年 月 日
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

その他の事項

1 公簿上の記載と次の点が異なる。

物件6の主たる建物

構造：鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床面積：約107平方メートル

物件6の附属建物 符号1

構造：軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床面積：約49平方メートル

物件6の附属建物 符号2

床面積：約472平方メートル

物件6の附属建物 符号3

構造：木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

物件6の附属建物 符号4

構造：木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

物件6の附属建物 符号5

構造：木造ビニール板葺平家建

物件6の附属建物 符号6

滅失して存在しない。

2 物件目録にない附属建物

未登記附属建物 a

種類：鶏舎

構造：木造ビニール板葺平家建

床面積：約190平方メートル

未登記附属建物 b

種類：倉庫

構造：鉄骨造スレート葺2階建

床面積：1階約64平方メートル 2階約64平方メートル

未登記附属建物 c

種類：便所

構造：木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床面積：約2平方メートル

未登記附属建物 d

種類：鶏舎

構造：木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床面積：約165平方メートル

(目的外土地用〈单独〉)

目 的 外 土 地 の 概 況 (物件6関係)									
所 在		官有地							
地 番		番							
地 目		☐ 宅地 ☐ 山林 ☐ 雑種地 ☐ 畑 ☐ 田 ☐							
地 積		平方メートル (☐ 全部 ☐ 約 平方メートル)							
所 有 者		☐ 建物所有者 ☐ その他の者 ()							
そ の 他 の 事 項		1 官有地のため、地番、地目、地積等の記録なし 2 物件6の建物の目的外土地に対する占有範囲は、同建物の附属建物符号3、未登記附属建物a、b、dの建物の各敷地として相当な範囲							
■関係人(■C(建物所有者の配偶者) ■富士市職員)の陳述／ ☐ 提示文書()の要旨									
占 有 権 原		☐ 所有権 ☐ 地上権 ☐ 賃借権 ☐ 使用借権 ■無権原							
占 有 開 始 時 期		昭和42年ころ(物件6の建物の登記記録の新築年月日ころ)							
最 初 の	契 約 日	年 月 日							
	契 約 等 期 間	年 月 日から ☐ 年 月 日まで 年間							
更 新 の 種 別		☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新							
現 在 の 契 約 等	期 間	年 月 日から ☐ 平成 年 月 日まで 年間							
	契 約 等 貸 主	☐ 土地所有者 ☐ その他の者 ()							
当 事 者	借 主	☐ 建物所有者 ☐ その他の者 ()							
	地代・支払時期等 毎 金 円 (毎 限り 分支払)								
地 代 前 払		☐ ない ☐ ある (金 円 分まで)							
敷 金 ・ 保 証 金		☐ ない ☐ ある (☐ 敷金 円 ☐ 保証金 円)							
地 代 滞 納		☐ ない ☐ ある (平成 年 月 日現在 金 円)							
契 約 解 除		☐ ない ☐ ある ()							
訴 訟 提 起 等		☐ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 平成 年 () 第 号 ☐ 係属中 ☐ 終局 ()							
そ の 他									
執 行 官 の 意 見		■上記のとおり ■「執行官の意見」のとおり							

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(6枚目)

関係人の陳述等	
陳 述 者 (当事者等との関係)	陳 述 内 容 等
■ C (所有者の配偶者)	1 私は、物件 1 乃至 5 の本件土地及び物件 6 の本件建物を所有する A の妻です。A は入院中です。 2 本件建物等では養鶏業を営んでいましたが、令和 5 年ころにやめました。本件物件は、誰にも貸していません。 3 本件建物の主たる建物、附属建物符号 1、附属建物符号 2 は、増築したことがあると思います。 4 本件建物の附属建物符号 5 は、従前の建物の一部を利用して建て替えていると思います。 5 本件建物の附属建物符号 6 は取り壊したと思います。 6 未登記附属建物 a、b、c、d は、何れも夫の A が建てました。 7 未登記附属建物 a、b は本件建物の主たる建物と同じところに建てたと思います。 8 境界に関する争いはありません。 9 本件建物の附属建物、未登記附属建物が官地にかかっているということは聞いたことがあります。官地は、払下げ等を受けてないと思います。 (令和 7 年 1 月 15 日、同年 2 月 5 日に聴取)
■ B (債務者)	1 私は、本件物件の所有者である A の娘の夫です。本件建物等で A とともに養鶏業を営んでいましたが、現在はやめています。 (令和 7 年 1 月 23 日(電話)、同年 2 月 5 日に聴取)
■ 富士市役所建設総務課 職員	1 本件建物の附属建物等が官地にかかって建っているということですが、その経緯等は不明です。何らかの理由で使用を許可したということも確認できる範囲ではありません。 (令和 7 年 2 月 12 日に聴取)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

- 1 本件物件及び目的外土地(官有地・赤道)等の状況は、公図、土地建物位置関係図、間取図及び添付写真のとおりである。
物件1及び物件2の各土地と北側に隣接する3093番1の土地との間、物件1及び物件3乃至物件5の各土地と東側に隣接する官有地(赤道)との間、物件5の土地と南側等に隣接する3096番10の土地との間には、それぞれ境界標等が確認できず、境界は判然としない。正確な境界の確認、確定は専門家による調査、測量等を要する。
物件6の主たる建物と附属建物符号1、附属建物符号2と附属建物符号3は、それぞれ接する等して一体的に利用されているが、屋根の形状等から各建物は区分でき、構造面において独立性を有しているものと認定した。
- 2 本件物件の占有関係は、関係人の陳述及び現場の状況等から、前記4乃至6枚目記載のとおり認定した。
物件6の附属建物符号3、未登記附属建物a、b、dは、目的外土地である官有地(赤道)にかかって建っている可能性がある。官有地(赤道)に対する占有権原は、払下げ等の事実は確認できず、各建物建築時から無権原で占有しているものと思料する。
- 3 本件土地上に建てられている未登記の建物(a、b、c、d)は、何れも本件所有者の所有と認められること、物件6の建物に近接して建てられていること、倉庫、鶏舎、便所として使用されていることから、物件6の建物の未登記附属建物と認定した。
- 4 物件6の附属建物符号2、3、4の建物内には、劣化した成鶏ゲージが存在するほか、鶏糞等の残置物がある。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
6年12月25日（水） ： － ：	執行官室	富士市資産税課に間取図請求（郵送）
6年12月26日（木） 11：15－11：30	物件所在地	物件確認，占有状況調査，外観写真撮影
7年 1月15日（水） 14：05－14：10	静岡地方法務局富士支局	土地（近隣地）の登記事項要約書申請，本件土地上の建物登記について調査（本件建物以外に登記なし）
7年 1月15日（水） 14：45－15：00	所有者宅	所有者の配偶者から事情聴取
7年 1月23日（木） 17：35－17：45	執行官室	債務者から事情聴取（電話）
7年 1月24日（金） ： － ：	執行官室	富士市資産税課に本件土地上の建物の家屋名寄帳の送付依頼（郵送）
7年 1月31日（金） 11：20－11：25	静岡地方法務局富士支局	物件1，2，4の土地の地積測量図申請
7年 2月 5日（水） 10：00－12：00	物件所在地	所有者の配偶者及び債務者と面接，入室調査，間取調査，境界調査，占有状況調査，写真撮影，評価人同行
7年 2月12日（水） 10：30－10：35	富士市役所	建設総務課職員から事情聴取
（特記事項） ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり

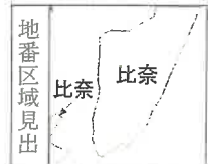
(9枚目)

公 図 【A3版をA4版に縮小】

1 3094-3 2 3097-7
3 3097-11 4 3097-9



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部分	所在	富士市比奈字向山				地番	3095番4			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日					備付年月日(原図)			補記事項		

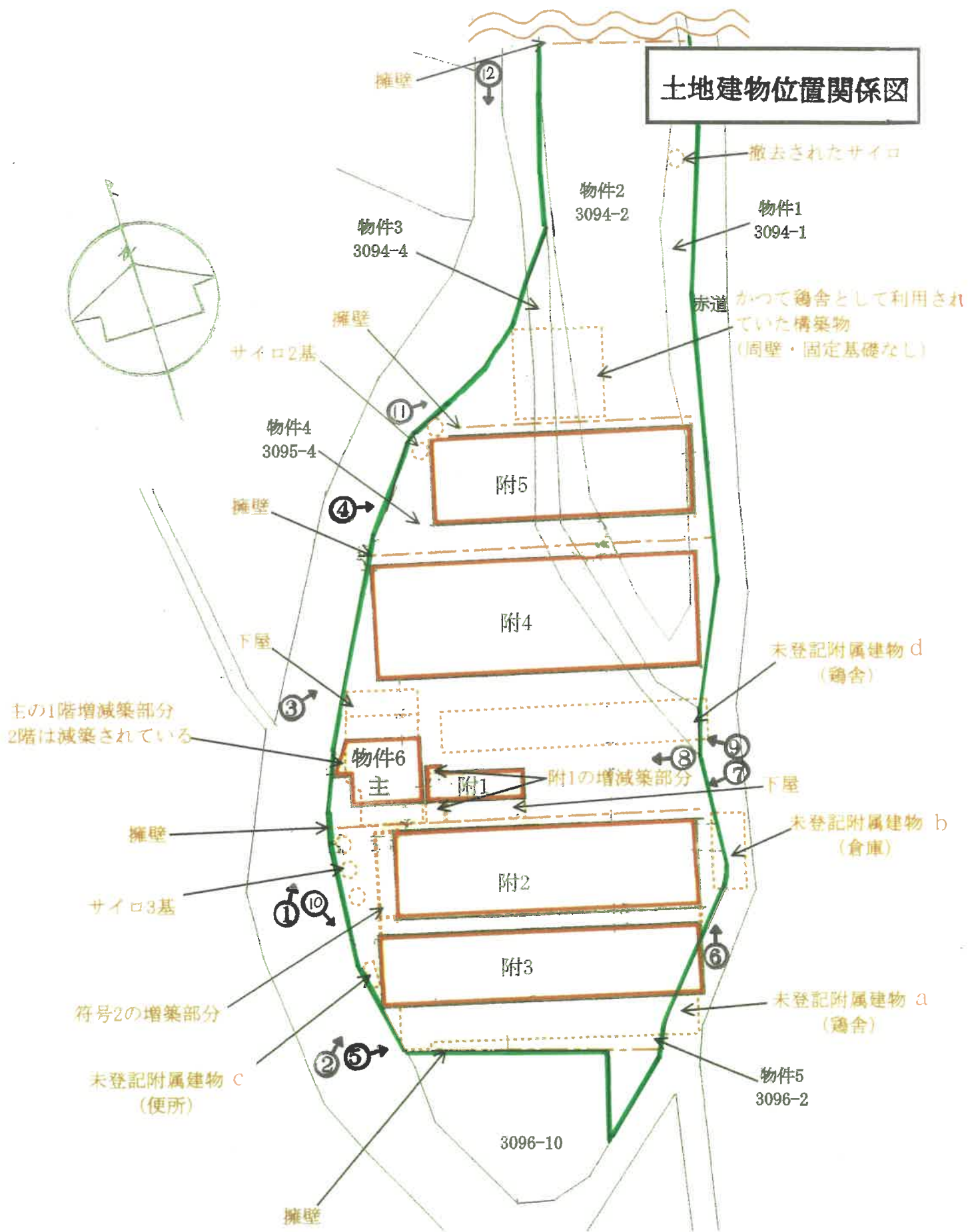
これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和6年11月21日
静岡地方法務局富士支局
登記官

請求番号：17-1
(1/1)

(10枚目)

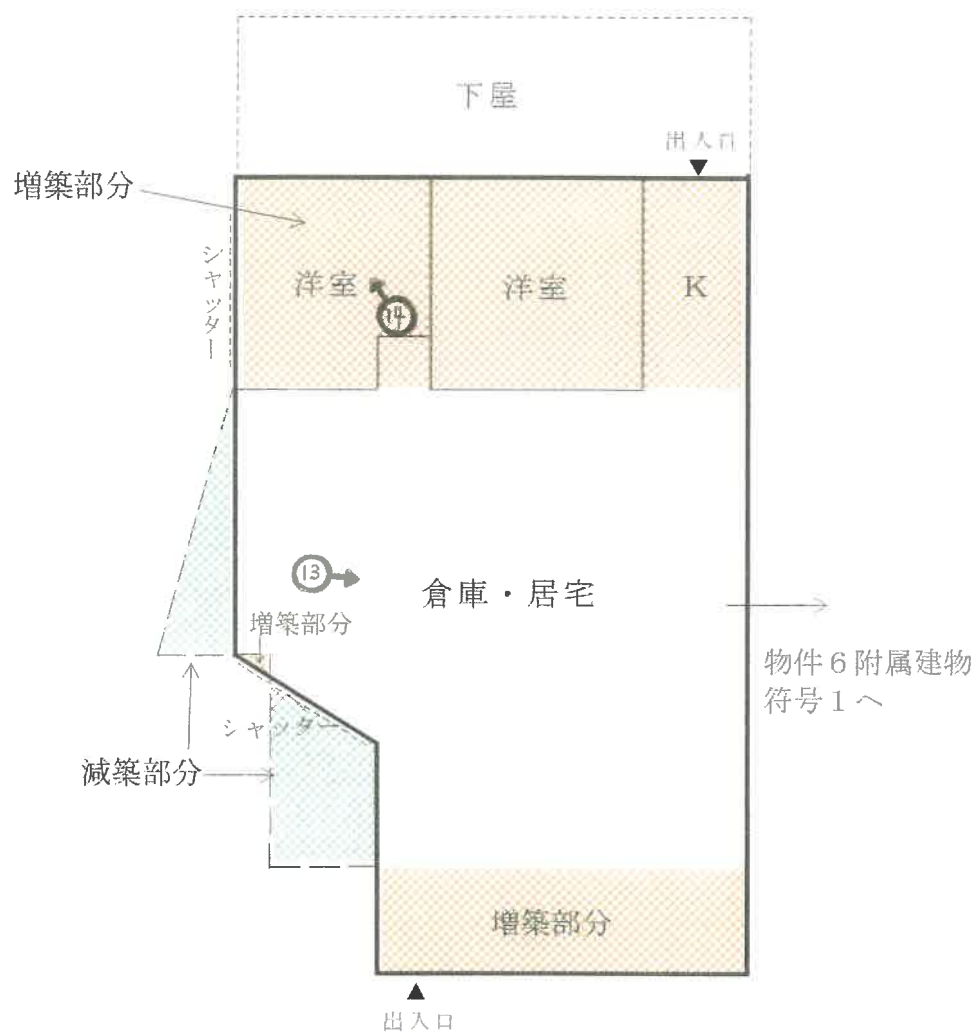
土地建物位置関係図



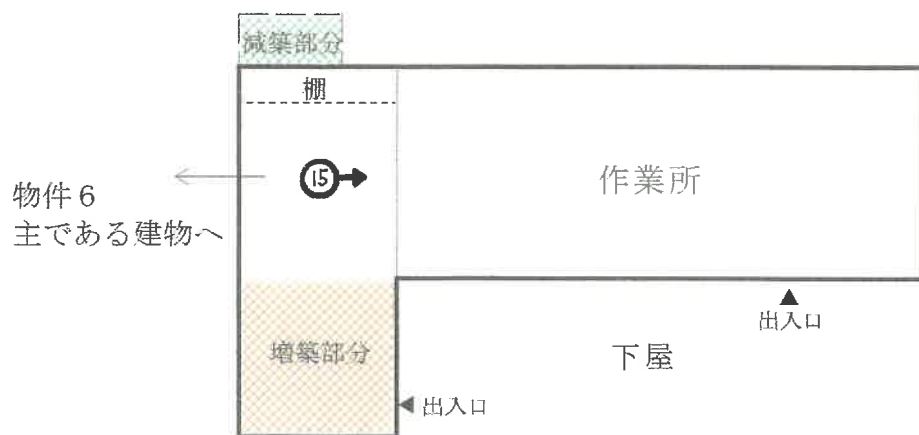
※本件土地内に複数存在する電柱・支柱や電力線等の引込柱は記載省略

♂写真撮影方向

物件 6
主である建物

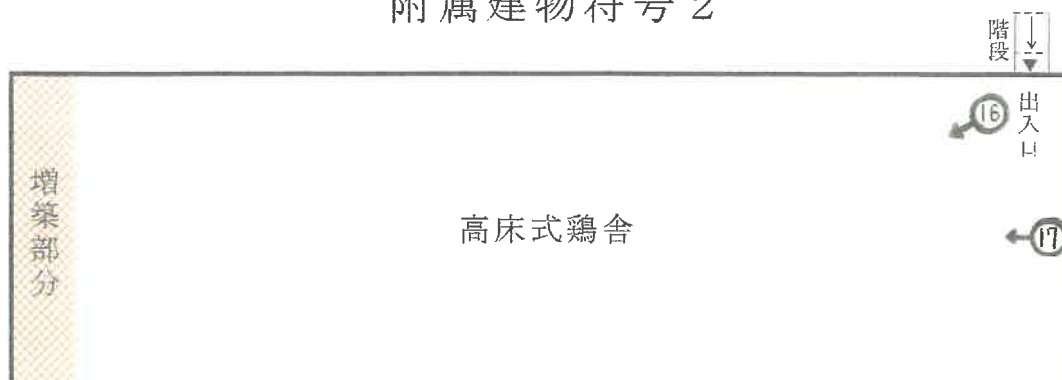


附属建物符号 1



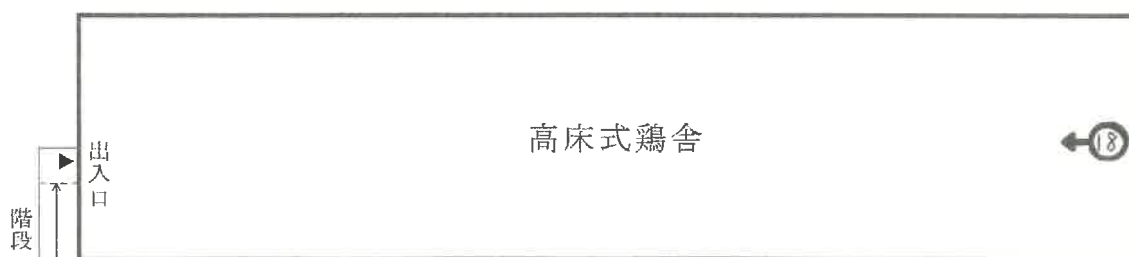
♂写真撮影方向

附属建物符号 2



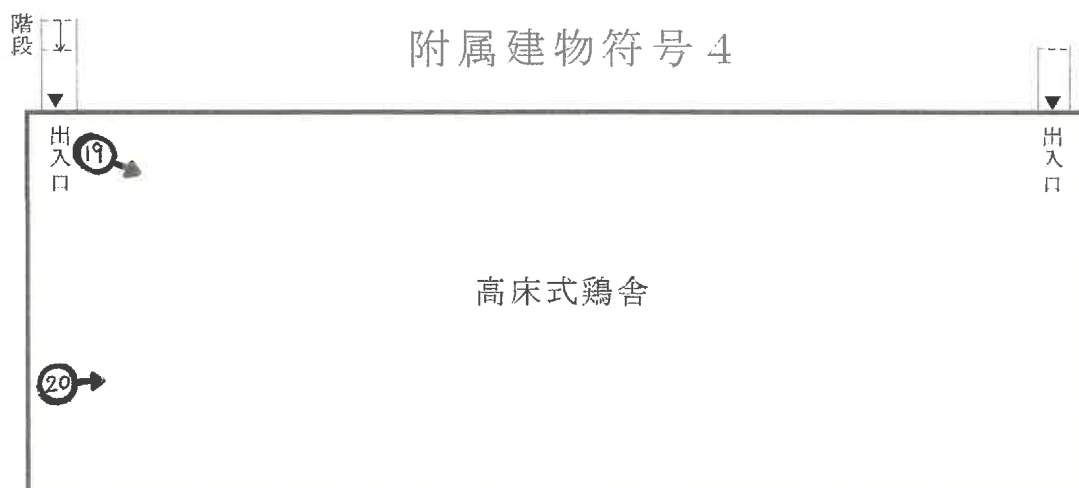
※床下は鶏糞堆積置場

附属建物符号 3



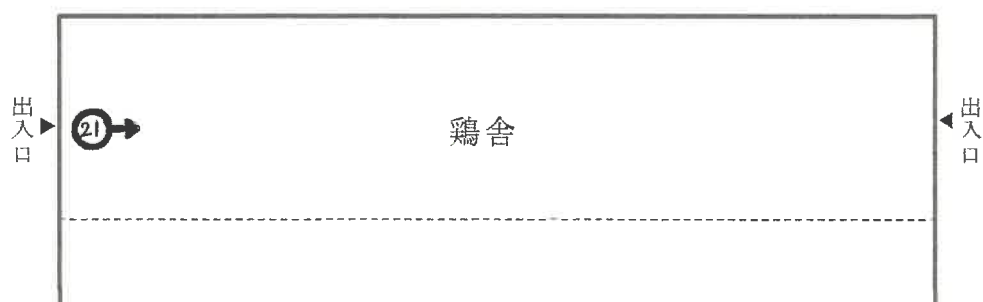
※床下は鶏糞堆積置場

附属建物符号 4



※床下は鶏糞堆積置場

附属建物符号 5



※附属建物符号 6 は滅失

♂写真撮影方向

物件 6

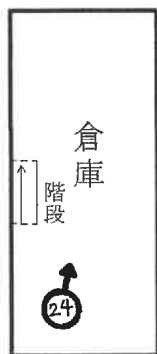
未登記附属建物 a



未登記附属建物 b

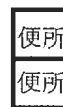


1 階

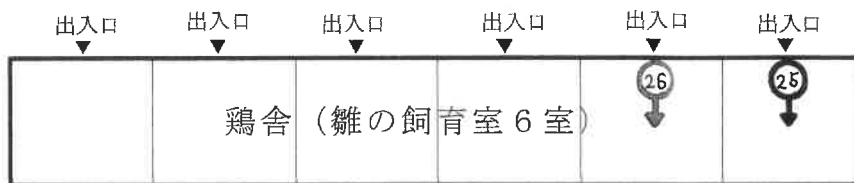


2 階

未登記附属建物 c



未登記附属建物 d



♂写真撮影方向

写真 1

物件 6（主）

サイロ



写真 2

物件 6（附属 符号 2）

物件 6（附属 符号 3）



写真 3

物件 6（附属 符号 4）



写真 4

物件 6（附属 符号 5）



写真 5

未登記附属建物 a



写真 6

未登記附属建物 b



写真 7

物件 6（附属 符号 2）



写真 8

物件 6（附属 符号 2）

物件 6（附属 符号 1）

未登記附属建物 d



写真 9

未登記附属建物 d



写真 1 0

未登記附属建物 c



写真 1 1

鶏舎として利用されていた構築物



写真 1 2



写真 1 3

建物内の状況



写真 1 4

建物内の状況



写真 1 5

建物内の状況



写真 1 6

建物内の状況



写真 1 7

建物内の状況（床下）



写真 1 8

建物内の状況（床下）



写真 1 9

建物内の状況



写真 2 0

建物内の状況（床下）



写真 2 1

建物内の状況



写真 2 2

建物内の状況



写真 2 3

建物内の状況



写真 2 4

建物内の状況



写真 2 5

建物内の状況



写真 2 6

建物内の状況



令和6年 (ケ) 第37号
令和7年 2月 5日 現地調査
令和7年 3月 7日 評 価

静岡地方裁判所富士支部 御中

評 価 書

(物件1～物件6)

評価人 不動産鑑定士

興 津 康 博

物 件 目 録

- | | | | |
|---|---|---|---------------|
| 1 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3094番1 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 469.00平方メートル |
| 2 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3094番2 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1061.15平方メートル |
| 3 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3094番4 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 182.83平方メートル |
| 4 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3095番4 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1335.53平方メートル |
| 5 | 所 | 在 | 富士市比奈字向山 |
| | 地 | 番 | 3096番2 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1101.91平方メートル |



物 件 目 録

6 所 在 富士市比奈字向山3095番地4、3094番地1、
3094番地2、3096番地2

家屋 番号 3095番4の1

種 類 倉庫 居宅

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建

床 面 積 1階 72.75平方メートル
2階 29.69平方メートル

(附属建物)

符 号 1

種 類 作業所

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 44.49平方メートル

符 号 2

種 類 鶏舎

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 443.70平方メートル

符 号 3

種 類 鶏舎

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 364.00平方メートル

符 号 4

種 類 鶏舎



物 件 目 録

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 581.60平方メートル

符 号 5

種 類 鶏舎

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 363.29平方メートル

符 号 6

種 類 作業所

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 45.08平方メートル

~~7 所 在 富士市比奈字向山~~

~~地 番 3096番10~~

~~地 目 宅地~~

~~地 積 299.74平方メートル~~

~~8 所 在 富士市比奈字向山3096番地10、3096番地4、
3096番地10先~~

~~家屋 番号 3096番10~~

~~種 類 居宅~~

~~構 造 木造瓦葺平家建~~

~~床 面 積 136.56平方メートル~~

~~(附属建物)~~



第1 評 価 額

一 括 価 格	
金 22,300,000 円	
内 訳 価 格	
物件1（土地）	金1,700,000 円
物件2（土地）	金3,840,000 円
物件3（土地）	金660,000 円
物件4（土地）	金4,830,000 円
物件5（土地）	金3,990,000 円
物件6（建物）	金7,280,000 円

- 1 一括価格は、物件1～物件6の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1～物件5土地の内訳価格は、物件6建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件6建物の価格は、当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。
- 5 上記評価額は引受債務相当額を控除する前の価格である。

第3 目的物件

番号	登 記	現 況
1	物件目録記載のとおり	
2	物件目録記載のとおり	
3	物件目録記載のとおり	
4	物件目録記載のとおり	
5	物件目録記載のとおり	
6	物件目録記載のとおり	主である建物：構造…鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 床面積…約107㎡ 附属建物符号1：構造…軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 床面積…約49㎡ 附属建物符号2：床面積…約472㎡ 附属建物符号3：構造…木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 附属建物符号4：構造…木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 附属建物符号5：構造…木造ビニール板葺平家建 附属建物符号6：滅失して存在しない 未登記附属建物a～dが存在する。詳細は特記事項参照
特 記 事 項		
・物件1～5土地内の1筆の土地の上、或いは、複数筆の土地の上に跨がって物件6主である建物、附属建物符号1～5、未登記附属建物a～dが存する。 ・各建物の配置は概ね建物配置図（概略）記載の通り。 ・物件1～物件5土地は一体利用されている。 ・下記①～④の境界は判然としない。 ① 物件1～物件5各土地間の境界 ② 物件1、物件3～5土地東側の官有地（赤道）との境界 ③ 物件1、物件2土地の北側隣地地番3093-1との境界 ④ 物件5土地の南側隣地地番3096-10との境界 ・正確な境界及び面積の確認・確定については、専門家による調査・測量を要する。		

※ 現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ。

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1～物件5）

位 置 ・ 交 通	J R 東海道本線「吉原」駅の北東方・直線距離約 4.2 k m 岳南電車「岳南富士岡」駅の北方・直線距離約 1.7 k m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	富士市中心市街地の北東方の比奈地域内で、東西に走る「東名高速道路」の北側に位置し、農地が広がる山麓傾斜地に農家住宅、一般住宅が介在する地域。当地域は、都市計画法上、市街化調整区域に指定されており、格別な地域の変動要因は見られないことから、当面は、現況の利用態様にて推移してゆくものと予測される。	
主な公法上の 規 制 等 (道路の幅員等 の個別的な規制 を考慮しない一 般的な規制)	都市計画区分 用 途 地 域 建 蔽 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	市街化調整区域 なし 60% 200% — ・周知の埋蔵文化財包蔵地「花川戸遺跡」 ・「線引き前宅地」
画 地 の 状 況	地 積 (登 記) 形 状 間 口 ・ 奥 行 地 勢 接 道 状 況 そ の 他	物件 1 : 469.00 m ² 物件 2 : 1061.15 m ² 物件 3 : 182.83 m ² 物件 4 : 1335.53 m ² 物件 5 : 1101.91 m ² 合 計 4150.42 m ² 一体利用の画地として不整形 公図参照 地域的には南方に下方傾斜 ・西及び北西側道路と概ね等高に接面する中間画地 ・前面道路との間に水路介在 土留擁壁が一体利用の画地内に複数配置されている。
接 面 道 路 の 状 況	・西及び北西側幅員約 4.5～4.7 m 舗装市道（建築基準法上の道路） ・公図上、東側に官有地（赤道）があるが、形態は判然としない。	

土地の利用状況	現況利用…既に操業を停止した養鶏場の建物及びその敷地で、物件6主である建物、附属建物符号1～5、未登記附属建物a～dが存する。 目的外建物の有無…なし その他…物件6の附属建物3、未登記附属建物a、b、dは、東側の官有地（赤道）の一部を占有している可能性がある。
供給処理施設	上水道：なし（親族の談によると井水を使用していたとのこと） ガス配管：なし 下水道：なし （注）供給処理施設における「あり」とは、目的物件の前面道路に該当施設の本管（以下、施設管という）が通っており、敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「なし」とは、目的物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理施設を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。
特記事項	・富士市役所建築土地対策課によると、本件土地は「線引き前宅地」とのこと。 ※詳細は、富士市役所担当課に問い合わせされたい。 ・物件1～物件5土地は一体利用されている。 ・下記①～④の境界は判然としない。 ① 物件1～物件5各土地間の境界 ② 物件1、物件3～5土地東側の官有地（赤道）との境界 ③ 物件1、物件2土地の北側隣地地番3093-1との境界 ④ 物件5土地の南側隣地地番3096-10との境界 ・正確な境界及び面積の確認・確定については、専門家による調査・測量を要する。 ・物件6の附属建物3、未登記附属建物a、b、dは、目的外土地の官有地（赤道）にかかって建っている可能性があるが、親族の談によると、官有地（赤道）の払い下げ手続きは行っていないと思うとのことから、各建物は建築当時から無権原で官有地（赤道）の一部を占有していると思料される。 ※詳細は、執行官の現況調査報告書を参照されたい。 ・親族の談によると、未登記附属建物bの南側の小屋はかつて豚小屋として使用していたとのこと。 ・本件土地内に複数の電柱・支柱や電力線等の引込柱が存在する。 ・本件は古くから山麓傾斜地に造られた養鶏場の建物及びその敷地で、宅地転用の造成工事がどの様に行われたのか、養鶏場が操業していた際の排泄物・排水の処理に伴う地下埋設物の有無も分からない。

2 建物の概況及び利用状況（物件6）

区 分	主である建物
建築時期及び 経済的残存 耐用年数	建築年月日（登記記載）：昭和42年5月新築 経 過 年 数：約58年 経済的残存耐用年数：満了している
仕 様	構 造：鉄骨造平家建 屋 根：亜鉛メッキ鋼板葺 外 壁：亜鉛メッキ鋼板、合板等 内 壁：合板、クロス等 天 井：合板、クロス、ビニール板等 床 ：土間コンクリート、フローリング等 設 備：電気、給排水 その他：—
床面積（現況）	1階は増減築により現況約107㎡ 2階は減築されて平家となっている。
現 況 用 途 等	現況用途：倉庫・居宅 間 取 り：後添間取図参照
品 等	劣る
保守管理の 状態	劣る
建 物 の 利 用 状況	建物所有者が、本件建物を倉庫・居宅として、附属建物符号1～5 を作業所、鶏舎等（空き家）として占有している。 ※ 詳細は、執行官の現況調査報告書を参照されたい。
特 記 事 項	・親族の談によると、主である建物、附属建物符号1、附属建物符号2は増築したことがあるほか、附属建物符号5は、従前建物を利用して建替えられているとのこと。増築や建替えの時期は不明とのこと。 ・主である建物、附属建物符号1～4は建築後50年以上経過し、経年劣化等により相当老朽化している。 ・附属建物符号5及び未登記附属建物a～dも老朽化している。 ・物件6の主である建物と附属建物符号1、附属建物符号2と附属建物符号3は、それぞれ結合して一体的に利用されているが、屋根の形状等から区分できるので、各建物は構造的に独立性を有するものと思料される。 ・主である建物及び附属建物符号1内には、プラスチックコンテナ、鶏卵緩衝材、洗濯機等の残置物が存在する。 ・スレート屋根等の建材にアスベスト含有建材が使用されている可能性がある。 ・附属建物符号2～4の鶏舎内に劣化した成鶏ゲージ等の設備が存

在するほか、親族の談によると、養鶏場の排泄物・排水の処理は適切に行われていたとのことだが、調査時点において鶏糞が鶏舎の床下土間に堆積した状態で残置されていた。

【物件 6 未登記附属建物 a】

種 類：鶏舎
構 造：木造ビニール板葺平家建
床 面 積：約 190 m²
建築年月：不明

【物件 6 未登記附属建物 b】

種 類：倉庫
構 造：鉄骨造スレート葺 2 階建
床 面 積：1 階約 64 m²、2 階約 64 m²
建築年月：昭和 42 年頃（富士市家屋名寄帳）

【物件 6 未登記附属建物 c】

種 類：便所
構 造：木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積：約 2 m²
建築年月：昭和 42 年頃（富士市家屋名寄帳）

【物件 6 未登記附属建物 d】

種 類：鶏舎
構 造：木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積：約 165 m²
建築年月：不明

第5 評価額算出の過程

本件は養鶏場の鶏舎を主とした関連建物及びその敷地であり、適切な複合不動産の取引事例が収集されず、収益物件ではないことから、比準価格と収益価格は求めず、積算価格より評価額を求めるものとする。

1 基礎となる価格

① 物件1～物件5（土地）

上記土地の更地価格を算出し、これに建付減価を行って建付地価格を求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付 減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ＝オ
1	19,000	0.72	469.00	0.90	5,770,000
2	19,000	0.72	1061.15	0.90	13,060,000
3	19,000	0.72	182.83	0.90	2,250,000
4	19,000	0.72	1335.53	0.90	16,440,000
5	19,000	0.72	1101.91	0.90	13,570,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

公示地 富士ー6

公示価格等 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格
 $36,800 \text{ 円/㎡} \times 99.1/100 \times 100/101 \times 100/190 \div 19,000 \text{ 円/㎡}$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：方位＋

◇地域格差：公示地は交通接近条件、環境条件、市場性等に相当優れる。

イ 個別格差：規模▲、形状▲、傾斜地▲、段差があるため土留擁壁が複数存在する▲、
 前面道路との間に水路介在▲

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建付減価：建物と敷地の適応状態等を考慮した。

② 物件 6（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて建物の価額を求めた。

物件番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価額 (円) ア×イ×ウ＝エ
6（主）	110,000	約 107	0.01	120,000
6（符号 1）	80,000	約 49	0.01	40,000
6（符号 2）	100,000	約 472	0.01	470,000
6（符号 3）	100,000	364.00	0.01	360,000
6（符号 4）	100,000	581.60	0.01	580,000
6（符号 5）	30,000	363.29	0.01	110,000
6（未附 a）	30,000	約 190	0.01	60,000
6（未附 b）	110,000	約 128	0.01	140,000
6（未附 c）	50,000	約 2	0.01	10,000※
6（未附 d）	70,000	約 165	0.01	120,000
一 括 価 額（合 計）				2,010,000

※物件 6（未附 c）は備忘価額

ウ 現価率：物件 6（主、符号 1～5、未附 a～d）は建築時期、維持管理の状態、用途、市場性等を考慮して現価率を 1%と査定した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件番号 (建物)	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ = ウ
1 (物件 6 符号 4)	5,770,000	0.3×0.602	法定地上権	1,040,000
1 (物件 6 符号 5)	5,770,000	0.3×0.398	法定地上権	690,000
2 (物件 6 符号 4)	13,060,000	0.3×0.267	法定地上権	1,050,000
2 (物件 6 符号 5)	13,060,000	0.3×0.733	法定地上権	2,870,000
3 (物件 6 符号 4)	2,250,000	0.3×0.494	法定地上権	330,000
3 (物件 6 符号 5)	2,250,000	0.3×0.316	法定地上権	210,000
3 (物件 6 未附 d)	2,250,000	0.3×0.190	法定地上権	130,000
4 (物件 6 主)	16,440,000	0.3×0.109	法定地上権	540,000
4 (物件 6 符号 1)	16,440,000	0.3×0.050	法定地上権	250,000
4 (物件 6 符号 2)	16,440,000	0.3×0.065	法定地上権	320,000
4 (物件 6 符号 4)	16,440,000	0.3×0.440	法定地上権	2,170,000
4 (物件 6 符号 5)	16,440,000	0.3×0.185	法定地上権	910,000
4 (物件 6 未附 b)	16,440,000	0.3×0.010	法定地上権	50,000
4 (物件 6 未附 d)	16,440,000	0.3×0.141	法定地上権	700,000
5 (物件 6 符号 2)	13,570,000	0.3×0.422	法定地上権	1,720,000
5 (物件 6 符号 3)	13,570,000	0.3×0.367	法定地上権	1,490,000
5 (物件 6 未附 a)	13,570,000	0.3×0.180	法定地上権	730,000
5 (物件 6 未附 b)	13,570,000	0.3×0.029	法定地上権	120,000
5 (物件 6 未附 c)	13,570,000	0.3×0.002	法定地上権	10,000
一 括 価 格 (合 計)				15,330,000

イ 土地利用権等割合：物件 6 建物の土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を 30%と査定した。物件 6 の建物について、物件 1～物件 5 土地上に存する建物の概ねの位置に基づく建築面積に応じて土地利用権等割合を按分した。なお、官有地については、原則として構造物等による占有は認められないことから土地利用権等価格の査定は行わない。

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) (1①オ、1②エ) ア	土地利用権等価格の 控除及び加算 (円) (2①ウ) イ	占有減価 修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市場 修正 オ	評 価 額 (円) (ア±イ) × ウ × エ × オ
1	5,770,000	－1,730,000		0.70	0.60	1,700,000
2	13,060,000	－3,920,000		0.70	0.60	3,840,000
3	2,250,000	－670,000		0.70	0.60	660,000
4	16,440,000	－4,940,000		0.70	0.60	4,830,000
5	13,570,000	－4,070,000		0.70	0.60	3,990,000
6	2,010,000	＋15,330,000	－	0.70	0.60	7,280,000
一 括 価 格 (合 計)						22,300,000

ウ 占有減価修正：なし

エ 市場性修正：対象物件の個別的要因及びこの種の不動産の市場性を十分検討したところ、本件は古くから山麓傾斜地に造られた養鶏場の建物及びその敷地で、宅地転用の造成工事がどの様に行われたのか、また、養鶏場が操業していた際の地下埋設物の有無も分からないこと、親族の談によると、養鶏場の排泄物・排水の処理は適切に行われていたとのことだが、調査時点において鶏糞が鶏舎の床下土間に堆積した状態で残置されていたこと、建物及び成鶏ゲージは経年劣化により相当老朽化していること、隣接する官有地（赤道）との境界が判然としないこと、官有地に対する占有権原は無権限と思料されること、地域の供給処理施設が未整備であるため、不動産開発・土地利用に関して制約があると思料されること等を総合的に勘案した結果、市場性が劣ると判断されることから所要の修正を行った。

オ 競売市場修正：第2評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

1 地価公示地 富士ー6

所 在：富士市神戸字嶋原50番10

価 格：36,800円/㎡

価 格 時 点：令和6年1月1日

地 積：200㎡

供給処理施設：水道、ガス、下水

接 面 街 路：西側4.5m市道

用途指定等：市街化調整区域

(建蔽率60%、容積率200%)

地域の概要：農家住宅と一般住宅が混在する住宅地域

第7 附属資料

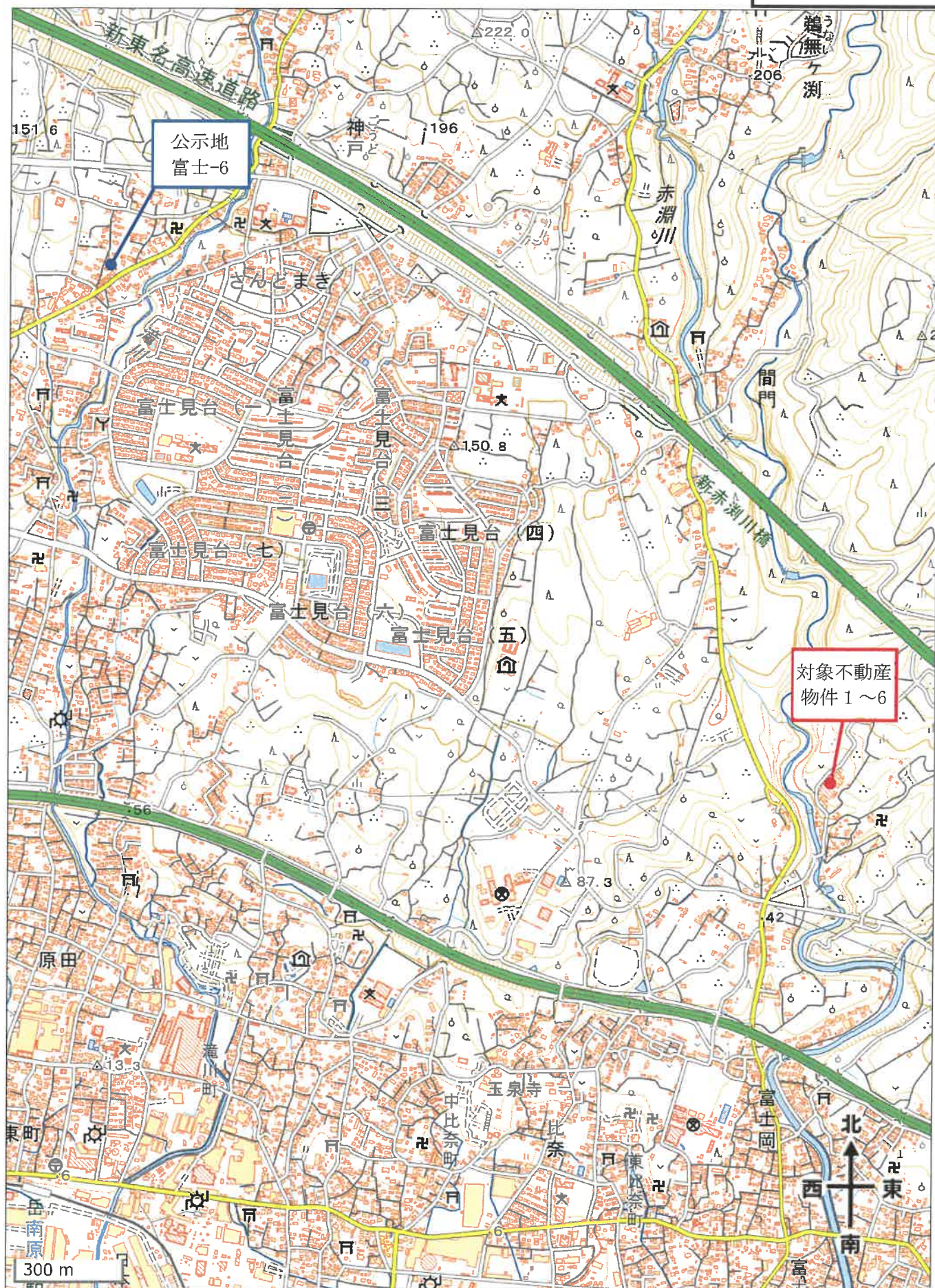
1 位 置 図

2 公 図 写

3 建物配置図

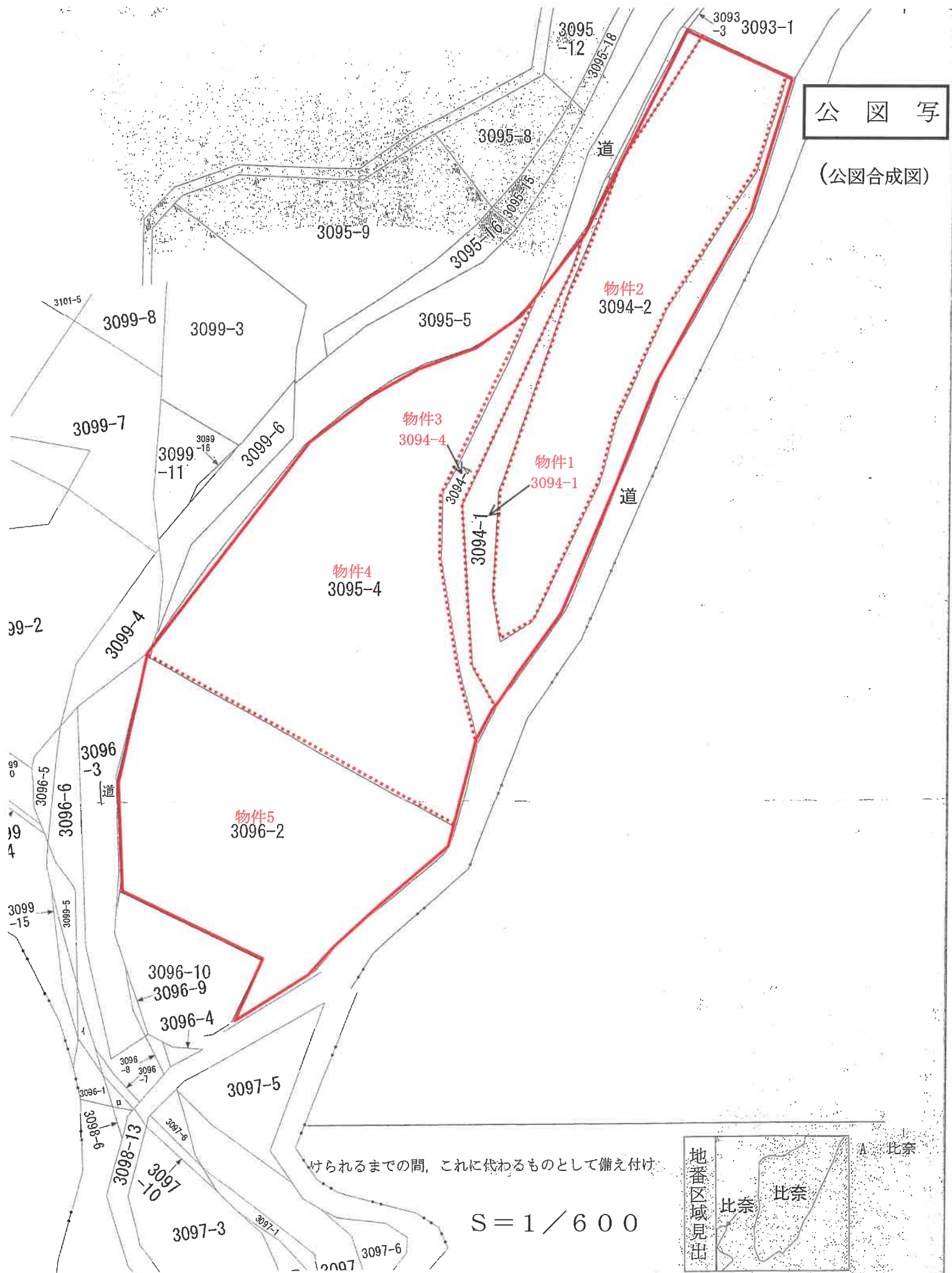
4 間 取 図

以 上



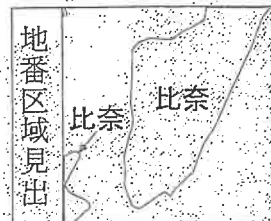
公 図 写

(公図合成図)



けられるまでの間、これに代わるものとして備え付け

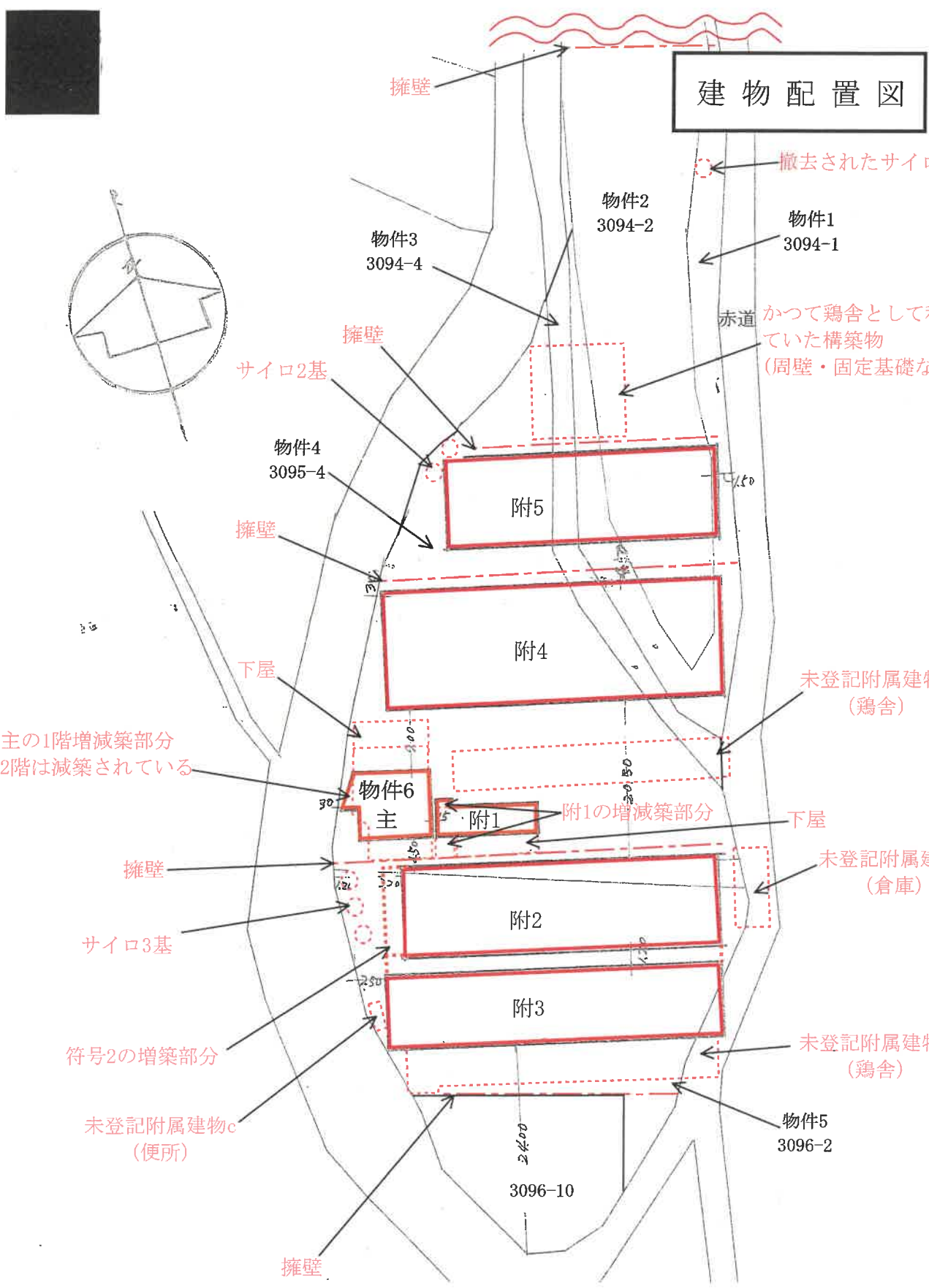
S = 1 / 600



A 比奈

比奈 比奈

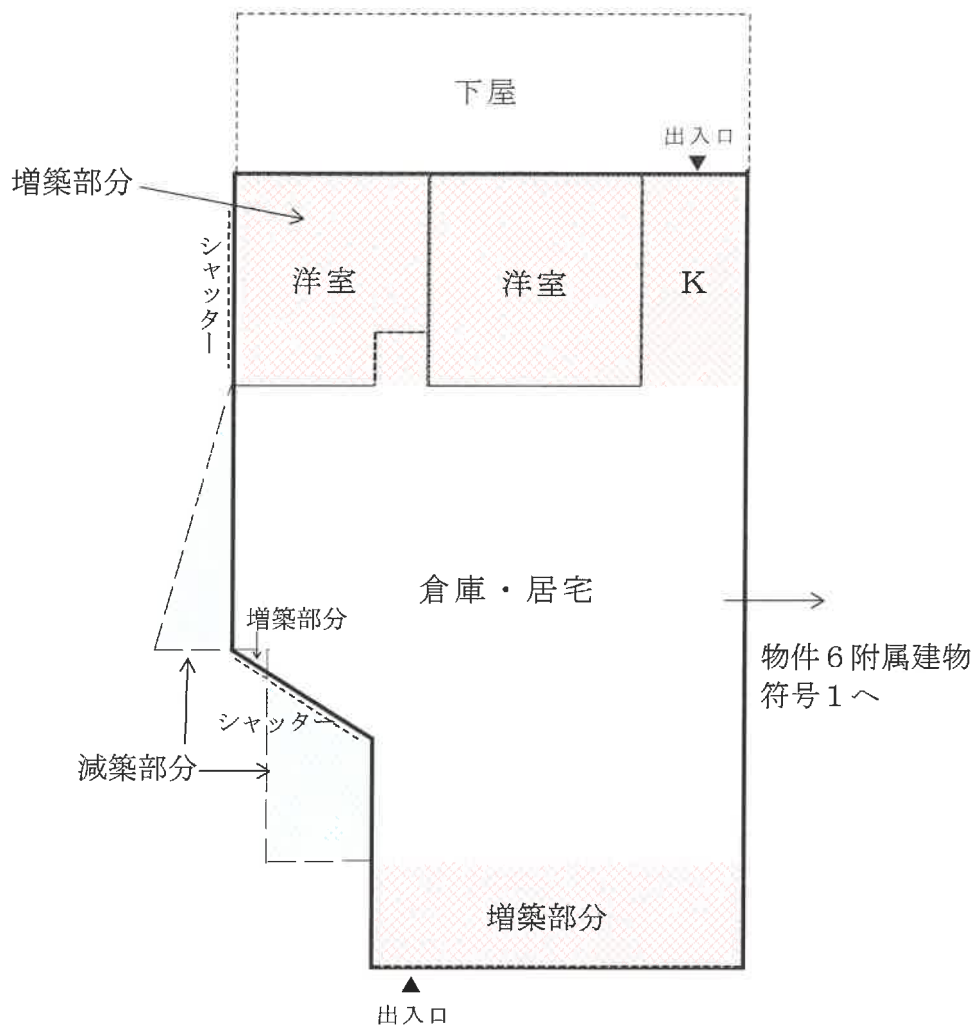
富士市北条字山 3095-4 3096-1 3096-2 3096-3 3096-4 3096-5 3096-6 3096-7 3096-8 3096-9 3096-10 3096-11 3096-12 3096-13 3096-14 3096-15 3096-16 3096-17 3096-18 3096-19 3096-20 3096-21 3096-22 3096-23 3096-24 3096-25 3096-26 3096-27 3096-28 3096-29 3096-30 3096-31 3096-32 3096-33 3096-34 3096-35 3096-36 3096-37 3096-38 3096-39 3096-40 3096-41 3096-42 3096-43 3096-44 3096-45 3096-46 3096-47 3096-48 3096-49 3096-50 3096-51 3096-52 3096-53 3096-54 3096-55 3096-56 3096-57 3096-58 3096-59 3096-60 3096-61 3096-62 3096-63 3096-64 3096-65 3096-66 3096-67 3096-68 3096-69 3096-70 3096-71 3096-72 3096-73 3096-74 3096-75 3096-76 3096-77 3096-78 3096-79 3096-80 3096-81 3096-82 3096-83 3096-84 3096-85 3096-86 3096-87 3096-88 3096-89 3096-90 3096-91 3096-92 3096-93 3096-94 3096-95 3096-96 3096-97 3096-98 3096-99 3096-100



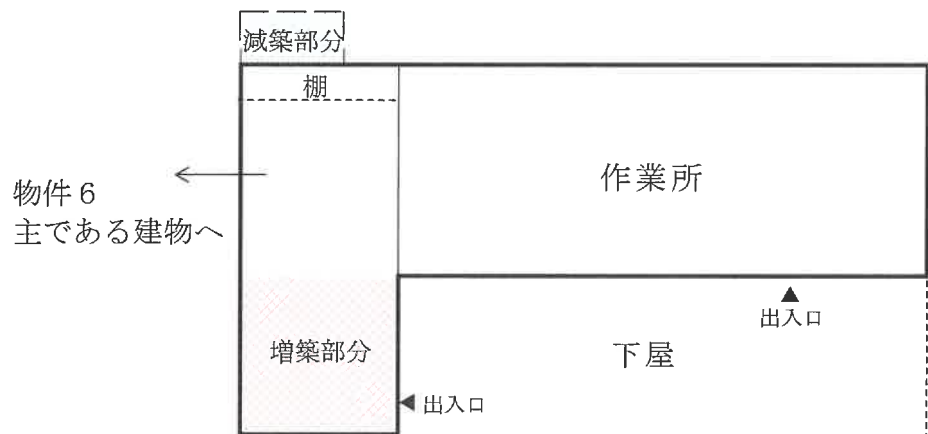
※本件土地内に複数存在する電柱・支柱や電力線等の引込柱は記載省略

建物配置図は、昭和44年5月1日作製の建物図面を基に物件6建物、未登記附属建物等の配置を加筆して作成した。したがって、上記配置図(概略)は実測したものではないことにご留意下さい。

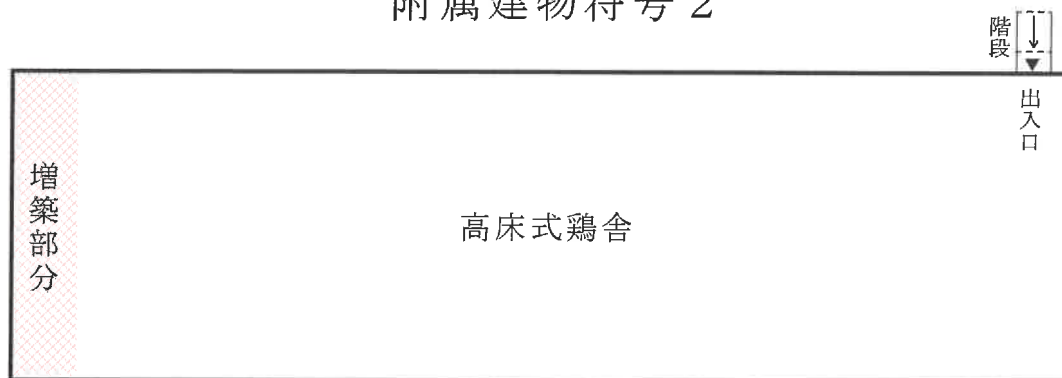
物件 6
主である建物



附属建物符号 1

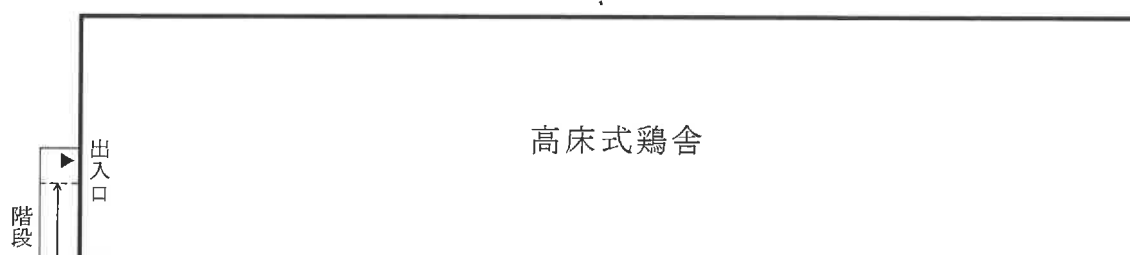


附属建物符号 2



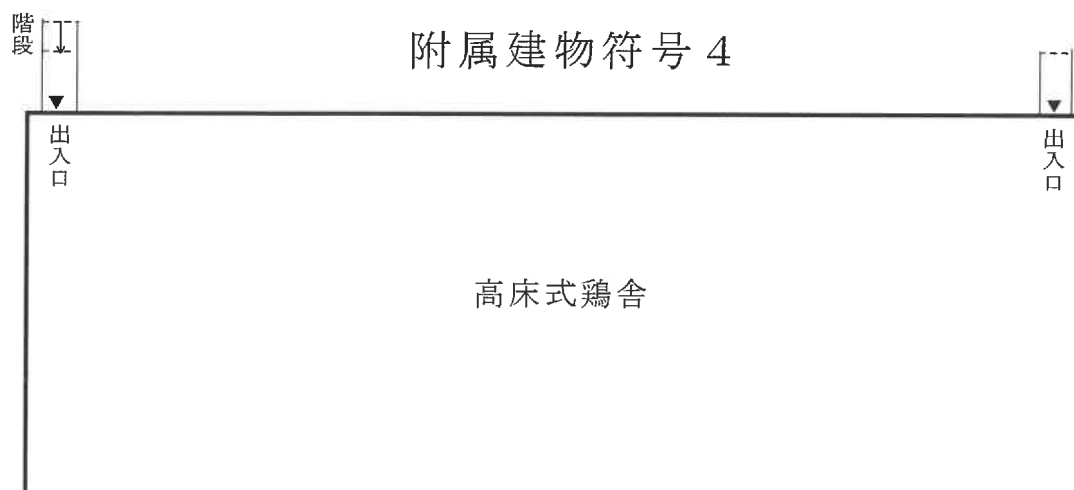
※床下は鶏糞堆積置場

附属建物符号 3



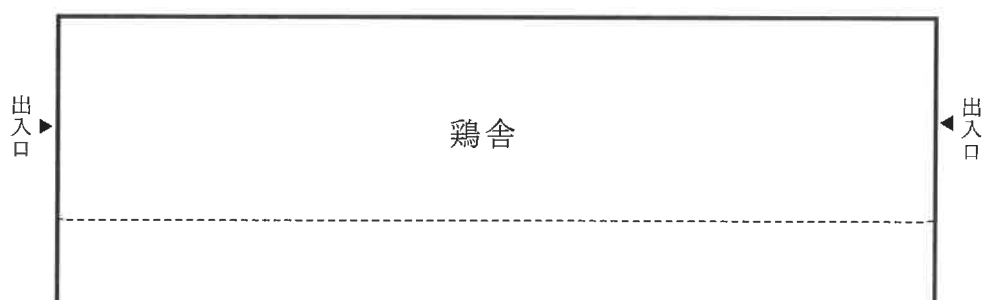
※床下は鶏糞堆積置場

附属建物符号 4



※床下は鶏糞堆積置場

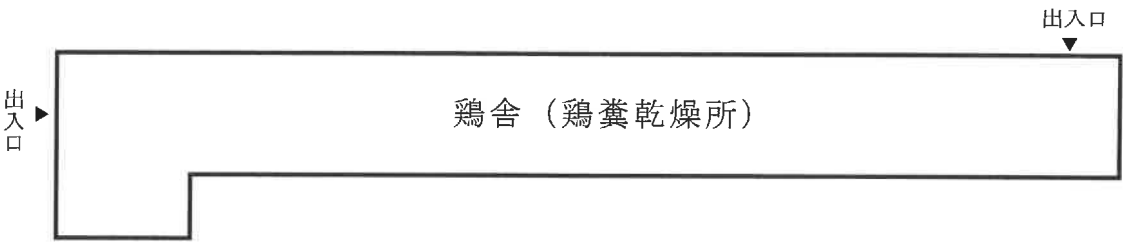
附属建物符号 5



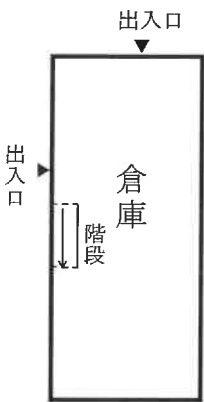
※附属建物符号 6 は滅失

物件 6

未登記附属建物 a



未登記附属建物 b

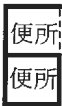


1 階



2 階

未登記附属建物 c



未登記附属建物 d

